

きらめき朝日

令和6年1月15日号

校長 横井 真人

明けましておめでとうございます 令和6年がはじまりました

1月9日(火)、17日間の少し長い冬休みが終わり、3学期の始業式が行われました。そこで各学年代表の3名の生徒が代表で3学期の抱負について発表しましたので、あらためて紙面に載せたいと思います。また、せっかくの機会ですので校長講話も載せたいと思います。

「3学期に頑張ること」

1学年代表

2学期は、中学校に入って初めての体育祭や文化祭等、大きな行事がたくさんありました。初めてのことで分からず困っているときに助けてくれたのが、2・3年生の先輩方でした。親身になって細かいところまで教えてくれたり、やさしく誘導してくれたりもしました。そんなカッコいい2・3年生にとっても感動しました。

3学期は、2年生になるための準備をする大事な時期です。そのため、これから頑張ることが大きく3つあります。

1つ目は、学習についてです。2学期の定期考査では、点数にバラつきがありました。社会の歴史や国語の書き抜きの問題に苦手意識があります。3学期中に苦手なところを克服して2年生の学習に備えたいです。

2つ目は、学年の活動です。私は1学年自治会長になりました。自治会長は、学年をまとめる役割でもあります。来年、頼れる2年生にみんながなれるように学年をまとめていきたいです。

3つ目は、部活動についてです。3年生が引退して部員は少なくなりました。さみしい気持ちもありますが、努力は報われると信じて頑張っています。伝統ある朝日中剣道部をしっかりと引き継げるように、より一層努力していきます。3学期中にしっかりと強くなって頼れる2年生になりたいです。

いよいよ3学期が始まります。今の頼れる先輩方を目標にして、健康に気をつけて頑張っていきます。

「3学期の抱負」

2学年代表

17日間の冬休み。始まる前はとても短い期間と感じていましたが、今となってもまだ短かったと感じています。私は3学期のスタートにあたり、学年全体としてつきたい力と、自分自身が頑張りたいことについて考えました。まず、学年として大切にしていきたいのが、2分前行動と提出物を全員でそろえることです。2分前行動は、1年生の時に比べてだんだん出来るようにはなりましたが、たまに忘れてしまうことがあるので、3学期は2学期よりも呼びかけなどを徹底していきたいです。また提出物を“毎回”そろえることができていないので、自治会だけでなくクラス全体で互いに声をかけあうようにしていきたいです。自分自身が頑張りたいことは、まず執行部の活動です。今年から私は副議長になります。初めてのことで分からないことがたくさんありますが、みんなの役に立てるよう、そして議長のサポートができるように頑張りたいです。それに、3学期は執行部の仕事だけでなく実力テストもあります。私は勉強が苦手です。とても苦手です。だから私は、今までのような甘っちょろい勉強ではなく、自分が満足するまで勉強をして、最後には笑ってられるように励みたいです。最後に、一番頑張りたいと思っているのは、部活動と部活動がない日の運動です。昨年、新人戦では、河北中学校に敗北し、チーム全員が悔しい思いをしました。だから、部活動がない日は、走り込みやバスケの練習を欠かさず行いたいと思います。そして、今年の地区総体は、5人全員の力を合わせて優勝したいです。皆さんも、自分が頑張りたいことについても考えて、実行していきましょう。

今学期は、受験という高い壁があり、卒業という中学校生活を締めくくる3年間で最後の学期です。

そこで私は今学期の抱負を2つ考えました。

1つ目は、万全の体調で入試に臨むことです。冬は寒さが厳しく乾燥するので風邪などにかかりやすくなります。そのため、一人一人が手洗い、うがい、消毒、マスク着用を意識して過ごしていきたいと思います。また、規則正しい生活を送るようにしたいです。頭を働かせるために3食しっかりと取り、情報を整理するために睡眠時間を十分に確保したいと思います。生活の乱れは心の乱れにつながるので心に余裕をもって受験に臨めるように気を付けていきたいです。

2つ目は、受験で合格することです。私たち3年生は、第1志望校合格を目指して勉強しています。最初、部活動を引退したばかりのころは受験勉強へとすぐに切り替えられる人は少なかったですが、実力テストの結果や二者面談で厳しい現実を突きつけられ、勉強に励むようになりました。第1志望校合格という壁は高く、焦りや不安を抱く人も多くいましたが、点数がたりない人は点数を上げる努力を、点数が合格ラインにとどいている人は維持できるように努力して少しずつ成長してきました。その努力が報われるために学年全員で受験の雰囲気づくりをすることが大事だと思います。早く受験が終わる人も最後の一人の受験が終わるまで、緊張感を持った雰囲気づくりや、勉強に協力していきたいです。そして、全員が有終の美を飾り、中学校生活に悔いを残さず、笑顔で卒業できるようにこれからも努力していきたいです。

校長講話

まず最初に、1月1日の地震で亡くなられた方々、1月2日の飛行機事故で亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、けがをされた方々、被災された方々にお見舞い申し上げたいと思います。

さて、あらためまして、明けましておめでとうございます。まずはじめに、皆さんとともに3学期始業式のこの時間を過ごせることに大きな喜びを感じています。3学期もがんばりましょう。

(中略)

我が家では、ここ数年1月2日と3日は熱い時間が流れます。箱根駅伝のためです。私と、息子3人の母校4校がこの箱根に出場しました。ですが、今年の箱根は、駒澤一強と言われ、他の大学の追従を許さないという下馬評です。あまり期待をせずにテレビを見ていました。ですが青山学院が3区から1位となり、そのまま総合優勝を果たしたのを見てとても感動を覚えました。特に、私が注目したのは、青学の原監督の「負けてたまるか、大作戦」です。この作戦は監督が「負けてたまるか」と言っているところに非常に共感を得ました。学生が「負けてたまるか」というのは理解できます。しかし、監督が「負けてたまるか」というところに原監督の覚悟と主体性が感じられるのです。そして指導者と学生の一体感を覚えるのです。

今年の干支は「甲辰(きのえたつ)」です。これは、これまでの努力が認められ更なる成長を遂げる年になるとか、逆に人知れず頑張ってきたこと、自身でも気が付かなかった意外な才能が一気に開花する年になるという意味があるそうです。まさに青学がそうだったと原監督が胴上げされ、3度宙に舞う姿をみて思いました。

今年一年、皆さんにとって充実したいい一年になってほしいと強く思います。ただ、何でも順風満帆というわけにはいかないかもしれません。そんなとき大事にしてほしいのは、原監督のような「負けたまるか」という主体的な想いです。それこそが皆さんのさらなる成長や才能の開花を支えるものになるものだと思います。今年も皆さんの主体的な行いに期待したいと思います。

最後にもう一つだけ、うれしかったこと。1月2日に寒河江のスーパーで買い物をしているときに、3年生のお兄さんと1年生の妹さんから「校長先生こんにちは」と挨拶されました。なかなかできることではありません。お正月から心がとても温かくなりました。言葉をかけてくれてありがとうございました。この場を借りて感謝したいと思います。

それでは、今年一年が皆さんにとっていい年になることを祈念して始業式の校長講話とします。寒い日が続きますががんばりましょう。